



神宮 貴子 講師

【じんぐう たかこ】

早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程単位取得退学。現在、早稲田大学総合研究機構研究員、(独)中小企業基盤整備機構人材支援アドバイザー等を務める。趣味はスポーツ観戦、博物館めぐり、工場見学など。

●経済・経営のための数学
c1・c2

サービスを工学する 複雑化するものづくり

研究テーマについて

現在の研究領域はSCM (Supply Chain Management) です。私たちの手元に届く製品やサービスは、多くの企業の連鎖を経て提供されます。これらの連鎖を「Supply Chain (SC)」と呼び、製品や顧客ニーズの多様化等により非常に複雑な構造となっています。高品質・低価格・短納期などの顧客満足度を高めるためには、ただ工場でのよいものを作ればよいだけでなく、工場や配送センター等施設の立地場所、原材料の供給体制、輸配送(物流)経路、在庫の持ち方など、様々な要因について考慮し、SC全体の最適化を達成しなくてはならないのです。

現在は「施設立地」と「ロジスティクスネットワーク」をキーワードとし、SCの全体最適化を達成する技法の開発を目指しています。特に、これまでなかなか同時考慮されなかった地域特性(労働力、施策等)をいかに評価項目として導入するか、という点について考える日々です。

一方、日本の全企業数における中小企業の割合は9割以上。たくさんの中企業によってSCは構成され、支えられているのが現状です。しかし、大企業と比較すると経営の改善や効率化を実現するための人材や時間、費用は十分であるとは言えません。そこで、研究活動と合わせて中小企業の経営・教育支援活動も行っています。

担当科目について

わたしが担当している「経済・経営のための数学c1,c2」は、「経済・経営のための数学a1,a2,b1,b2」で学習する内容を幅広く扱い、さらに理解を深めることを目的としています。また本講義の大きな特徴として、Microsoft社の表計算ソフト「Excel」を活用し、基本的操作、数値計算、グラフ作成、統計処理等を演習形式で学ぶ点があげられます。みなさんがこれから学ぶ専門分野、経済・経営活動を客観的に分析・評価するためには「数学」の考え方は欠かせないものです。そこで、本講義では私たちの日常生活、あるいは経済・経営活動に関連するデータや事例などを用いた演習や、他の科目と数学との関連性を紹介することで、「あ、そういうことか!」という発見が1つでもあるような講義運営を心がけています。

経済学部に来て数学なんて使うのかな……という人も多いかもしれませんが。しかし様々な授業を受けていく中で、ここで学んだ事を使う場面が多い気がします。高校で学んだ数学を復習・発展させるだけでなく、エクセルなどを使って将来の研究や仕事にも役立つであろう事がたくさん学べます。とても有意義な講義だと思います。

2010年入学 受講生

受講生のひとこと

